



## RBC HiYield Plasmid Mini Kit

# 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名：HiYield Plasmid Mini Kit

カタログ番号：YPD100, YPD300

会社名：有限会社サイトローブ

担当部門：マーケティング営業部

住所：〒113-0034 東京都文京区湯島 3-21-5

電話番号：03-3834-2525 FAX 番号：03-3834-2550

### 2. 組成・成分情報

内容物 1：PD1 緩衝液

危険有害成分なし

内容物 2：PD2 緩衝液

(成分)

ドデシル硫酸ナトリウム CAS-No. 00151-21-3 1~2.5%

n-水酸化ナトリウム CAS-No. 01310-73-2 0.1~1%

内容物 3：PD3 緩衝液

(成分)

m-塩化グアニジン CAS-No. 00050-01-1 25~50%

酢酸 CAS-No. 00064-19-7 10~25%

内容物 4：洗浄緩衝液

危険有害成分なし

内容物 5 : EB 緩衝液

危険有害成分なし

内容物 6 : RNA 分解酵素

危険有害成分なし

### 3. 危険有害性の要約

内容物 1, 4, 5, 6 : 作業上の暴露の危険性はほとんどない、あるいは人体への有害性はない。

内容物 2 : **注意!** 刺激性あり。飲み込むと有害。皮膚のアレルギー反応を引き起こす可能性がある。動物実験により生殖毒性の可能性が示されている。

内容物 3 : **危険!** 組織腐食性あり。飲み込むと有害。皮膚のアレルギー反応を引き起こす可能性がある。

### 4. 応急措置

**眼に入った場合:** 眼を開いて多量の水で 20 分以上洗い流す。化学物質による汚染を防ぐため、頭を前に傾げる。コンタクトレンズは外し、洗浄してから使用する。すぐに医師の診察を受ける。

**皮膚に付着した場合:** 石鹼と水で洗い流す。付着した衣服は脱ぎ、すぐに洗濯する。革製品に付着した場合は、すぐに取り外し、洗浄してから使用する。刺激が続く、または強くなる場合は、医師の診察を受ける。

**吸入した場合:** 新鮮な空気のある場所へ移動する。呼吸に異常が認められる場合は酸素吸入の処置を受ける。呼吸が見られない場合は、人工呼吸を行った後、酸素吸入の処置を受けさせる。すぐに医師の診察を受ける。

**飲み込んだ場合:**

内容物 1, 4, 5, 6 : 意識がある場合、大量の水を飲ませる。自発的に嘔吐した場合は、口をすすぐ。医師の指示に従って吐かせる。症状が悪化した場合は医師の診察を受ける。

内容物 2, 3 : 吐かせず、すぐに医師の診察を受ける。希釈するためにコップ 2 杯の水または牛乳を飲む。この MSDS を医師に見せる。腐食性あり。

医師の方々へ: 症状を治療して下さい。

## 5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤

内容物 1, 4, 5, 6：周囲の材質に適した消火剤を使用する。

内容物 2, 3：耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、または水噴霧を使用する。液体が燃焼している場合、水や泡が泡立つこともあるが、注意深く火元に吹きかければ消火剤として機能する。燃焼している液体に直接水を流し込まず、水噴霧により冷却する。

消火を行う者の保護：火災現場に立ち入る際は必ず呼吸器と全身防護衣を着用する。有害な蒸気や分解生成物を発生する危険があるので、安全距離あるいは保護位置から消火を行う。

火災時の特定危険有害性：二酸化炭素、一酸化炭素、濃い煙などの危険性のある燃焼生成物が発生する。

## 6. 漏出時の措置

法令等において報告義務やその他の指示の対象となる場合があります。「8. 暴露防止措置」を参照して、保護具の着用などの措置を取って下さい。

除去方法：

内容物 1, 4, 5, 6：一般的な吸収剤を用いて漏出物を除去し、適切な廃棄物用容器に回収する。

内容物 2, 3：漏出物への暴露により刺激や健康被害を受ける可能性がある。「8. 暴露防止措置」記載の防護措置を取ること。さらに、漏出した物質や量、場所などによっては、警告を表示する必要があると考えられる。漏出現場の労働者の専門性も考慮する必要がある。漏出場所では換気を行い、健康影響や環境影響を最小限に抑えるため、漏出物が広がるのを防ぐ。「8. 暴露防止措置」記載の保護具を着用し、粒状粘土など適切な吸収剤を用いて回収し、適切に処分されるまで密閉容器に入れて保管する。

## 7. 取扱上及び保管上の注意

保管方法について、法令等による規制の対象となる場合があります。

取扱い：

内容物 1, 4, 5, 6：使用の都度、容器を密閉する。

内容物 2, 3：刺激性のある、または、有害な物質である。皮膚や眼に触れたり、吸引したりしないよう注意する。十分に換気した場所で使用し、使用後は容器を密閉する。

保管：一般的な化学薬品の保管設備内での保管に適する。環境気圧。

## 8. 暴露防止措置

許容濃度：

成分名	OSHA	AGCIH
ドデシル硫酸ナトリウム	不明	不明
酢酸	10 PPM	10 PPM
塩化グアニジン	不明	不明

設備対策：過剰暴露を防止するため、本製品の使用場所には局所排気装置等を設置する必要がある。また、本製品の使用場所の近くに洗眼設備、安全シャワーを設ける。

保護具：

各保護具は定期的に洗浄する。

保護眼鏡 - 保護眼鏡

保護手袋 - 耐薬品性保護手袋。薬品の漏出がないかどうか検査し、定期的に交換する。

保護衣 - 使用状況によって白衣等の保護衣を着用する。

呼吸器用保護具 - レスピレータの使用を就業規則で保証している場合は必ず OSHA 29 CFR 1910.134 および ANSI Z88.2 の要件を満たす呼吸器保護対策を講じること。

衛生対策：飲食前や作業終了後は、手及びその他の露出部分を低刺激性の石鹸で洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体（溶液または懸濁液）

臭い：無臭

物理的状态が変化する温度範囲

沸点：データなし

引火点：データなし

引火性限界：データなし

発火点：データなし

比重：データなし

揮発性：データなし

蒸発速度：データなし

粘度：データなし

## 10. 安全性及び反応性

安定性：標準的な状態で安定。

避けるべき条件：強酸化剤、高温、強酸。

危険有害な分解生成物：なし。危険有害な重合も発生しない。

## 11. 有害性情報

毒性、感染性、腐食性のある物質は含まれていない。

### 可能性のある健康影響

**眼：**中程度の刺激、流涙・発赤作用をもたらす可能性があるが、眼組織に対して回復不能な損傷を与える可能性は低い。また、重度の刺激を起こす可能性もある。眼に入ると、角膜に損傷を受ける可能性がある。著しい発赤や結膜の腫れを伴う不快感や痛み、過度のまばたき、流涙などの症状を引き起こす可能性がある。一時的な視力障害（眼のかすみ等）を引き起こす可能性がある。

**皮膚：**中程度の皮膚刺激、脱脂、皮膚炎を起こす可能性があるが、回復不能な損傷を与える可能性は低い。皮膚のアレルギー反応を引き起こす可能性がある。組織腐食性を持ち、化学熱傷を起こす可能性がある。長時間皮膚に付着すると、皮膚を刺激し発疹（皮膚炎）を起こす可能性がある。長時間または連続的な暴露により経皮吸収された場合は有害であり、軽度の全身性障害を引き起こす可能性がある。

**吸入：**軽度の呼吸刺激、めまい、脱力感、倦怠感、吐き気、頭痛を起こす可能性がある。重度の刺激や組織損傷を引き起こす気道腐食性を示す可能性がある。蒸気を深く吸入し肺に至った場合、肺から急速に吸収され、特定の臓器障害を引き起こす可能性がある。吸入における毒性は示されていない。

**摂取：**口、喉、胃腸への軽度の刺激や腹部不快感をもたらす可能性がある。飲み込んだ場合は有害であり、全身中毒症を引き起こす可能性がある。組織腐食性を持ち、口、喉、胃腸に重度または回復不能な損傷を与える可能性がある。吸引した場合、肺に損傷を受ける可能性がある。本製品の摂取により、頭痛、眠気、め

まい、発語不明瞭、かすみ目など、中枢神経系に影響が出る可能性がある。

**慢性影響：**発がん性に関するデータなし。高用量投与動物実験により生殖毒性の可能性が示された物質が含まれている。

## 12. 環境影響情報

データなし。環境中での分解、変質、残留および生物濃縮の危険性は示されていない。

## 13. 廃棄上の注意

関連法令等を遵守して適正に処理する。

## 14. 輸送上の注意

IATA DGR（国際航空運送協会危険物規則）：適用規定なし

## 15. 適用法令

労働安全衛生法：施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物

## 16. その他

この製品安全データシート情報は、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意をお願いします。

また、危険有害性等の記載内容に関して、いかなる保証をなすものではありません。